Setouchi Seaplanes

せとうちSeaplanesは、ユニークな方法で瀬戸内海とその周辺を観覧する方法を提供しています。水上飛行機を使用する日本で唯一の観光オペレーターであるせとうちSEAPLANESは、尾道のベラビスタマリーナ（一部、広島空港など）から出発する定期フライトとチャーターフライトの両方を提供しています。定期便の遊覧飛行はおよそ30分の飛行時間で、一日4回運航しています。

フライトの時刻よりも早く到着したら、ぜひせとうちSEAPLANESの待合室で時間を過ごしてみてください。建物のトンネルのような入口を通ると、左手に待合室があります。床から天井まで広がる窓からは、ベラビスタマリーナと瀬戸内海の彼方の最高の眺めが望めます。運が良ければ、有名な水上ホテル船、Guntu（グンツウ）の姿が見られるかもしれません。

しかし、待合室自体にもご興味を持たせるに十分の魅力があります。ル・コルビュジェ（1887～1965）の従兄弟であり同業者であったピエール・ジャンヌレ（1896～1967）によるジャンヌレとル・コルビュジェはインド・チャンディガールでの長期の都市計画プロジェクトで協働しており、待合室の家具のいくつかはその間設計されたものです。待つ間、ジャンヌレその他の建築家の本を読むこともできます。ミッドセンチュリー・モダンのスタイルは待合室に留まらず、せとうちSEAPLANESのコースターやナプキンのデザインにも及び、空の旅がより優雅だった時代を想起させています。